

令和3年度事業計画

I. 令和3年度方針

近年、当地域における外国人住民が増加し、特にベトナム、中国、フィリピンなどアジアからの技能実習生や就労者が増えている。(参考 八戸市の外国人住民数 H28:962 人→R2:1,226 人)
また、依然、新型コロナウイルス感染症の拡大が治らず、各種交流事業等も対策を講じる必要がある。

以上を考慮し、次を年度方針とする。

- ・増加する外国人住民を国際交流の輪に取り込むとともに、外国人並びに受け入れる側の日本人への共生のためのサポートを推進する。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意した、各事業の企画運営を行う。

II. 令和3年度事業計画

《留意事項》

令和3年度の事業計画（案）については、前年度と同様に新型コロナウイルス肺炎感染症拡大防止の観点から、中止、延期、内容変更等の可能性がある旨ご了承願います。

八戸三社大祭の行列等の中止決定に伴い、関連事業も中止となりました。

なお、今後の事業の実施状況等に関しましては、協会ホームページ等を通じてお知らせしてまいります。

1. 交流促進事業

(1) 異文化理解事業

①ハロウィンツアー

異文化を体験することにより、こどもたちの国際的な視野を育てる。

内 容： ○第2回 写真でハッピーハロウィンコンテスト

Instagramで参加者からハロウィンをテーマにした写真を募集し、入賞者には賞品を贈る。募集人数に制限は無く、参加料無料。

・募集期間：令和3年10月中旬～11月上旬

○はちのへほコテンにハロウィンブース出展

10月ほコテンに、ハロウィン文化を伝えるブースを出展する。

②異文化理解交流イベント

市民に異文化理解・異文化交流ができる機会を創出する。

留学生を対象とした交流イベント。

③第 10 回国際交流フェスタ in はちのへ

地域住民を対象とした大規模交流イベントを実施し、異文化理解を推進するとともに、国際交流協会の PR に努める。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症予防策として、異文化理解イベント程度の小規模なものとして開催。

(2) 交流事業（外国語講座）

①初級英語講座

協会員及び住民を対象に初級の英語講座を開講する。

期 間： 3 日間×2 回（9 月、11 月）

②初級外国語講座（英語以外）

協会員及び住民を対象に英語以外の外国語講座を開講する。

期 間： 未定（全 3 回）

2. 在住外国人支援事業

(1) 日本語講座運営

外国人住民に対し日本語学習機会を提供するため、基礎的な日本語講座を開講する。

日 時： 令和 3 年 5 月～令和 4 年 2 月 火曜日 18：30～20：30

開講回数： 年 30 回×5 クラス

会 場： 八戸市福祉公民館（類家）他 ※コロナ対策として当面はオンライン授業

運営委託先： NPO 法人みちのく国際日本語教育センター

(2) 外国語情報提供

外国人住民への生活情報等（英語・中国語・やさしい日本語・ベトナム語）を提供する。

リビングガイドのベトナム語版翻訳をすすめる。

リビングガイドの配布（配布予定 500 部）

(3) 外国人相談窓口及びコミュニケーション支援

①外国人相談窓口

生活上の相談に応じ、日本での生活を支援する。（電話相談、窓口相談等随時対応）

②コミュニケーション支援

相談案件を未然に防ぐ取り組みとして、外国人とのコミュニケーションをとるための講座を開講する。

(4) 国際交流ボランティアバンクの運営

外部からの協力依頼（通訳・ホームステイ等）に対し、バンク登録者を派遣する。
要項改正と登録者意思確認を行う。

登録者数 : 128 名（令和 3 年 4 月 1 日現在）

(5) 地域で育む BOSA I 力講座（外国人のための防災教室）

外国人住民と地域住民がともに災害時の行動を学習できる防災教室を開催する。

日 時： 令和 3 年 10 月 17 日（日）

場 所： 八戸市水産会館

共 催： 八戸市連合町内会連絡協議会／八戸市

(6) 外国人協力員登録事業

市内及び近隣町村在住の外国人に登録してもらい、協会は、登録者に対し情報提供し、事業実施時や生活要望などに関する協力を得る。

登録者数： 個人 32 名、団体 3 名（令和 3 年 4 月 1 日現在）

【内訳】 個人： 中国、フィリピン、アメリカ、ロシア ほか

3. 通訳・ガイド支援事業

(1) 米軍三沢基地新規赴任者八戸ツアー

米軍三沢基地新規赴任者オリエンテーションプログラムの一環である八戸市内見学（櫛引八幡宮・八食センター）の際に、英語ガイドを行う。国際交流ボランティアバンク登録者が従事。原則として、毎週金曜日（祝祭日等を除く）に実施。

また、新規ガイド見学会及び研修会を実施する。

(2) 観光地等英語ガイド

市内の観光地等（種差海岸、リサイクルプラザ、八戸市博物館及び史跡根城の広場）を訪問する外国人に対し、国際交流ボランティアバンク登録者を派遣し、英語ガイドを行う。

また、ガイド能力向上のための内部研修を行う。（新美術館の見学研修実施予定）

(3) 体験ガイドイベント

人材発掘育成のため、高校生・大学生等を対象としたガイド体験イベントを実施する。

4. 調査広報事業

(1) 機関紙「りんぐりんぐ」発行

機関紙を年2回発行(4色カラー・全12ページ)。地域における国際交流活動の紹介や、協会が主催する事業等について、協会員や地域住民に情報を提供する。

配布先：協会員、外国人協力員、市内スーパー、市内金融機関、市内各公民館・各SC等

(2) ホームページ等による広報

協会の活動を反映した適時性の高い情報提供を心がけ、ホームページ、SNS等を協会事業のPRに活用する。また、新型コロナウイルス関連情報について、SNSを活用して周知を図る。

5. 姉妹友好都市交流事業

フェデラルウェイ市及び蘭州市一行の八戸市訪問の際に開催される歓迎夕食会へ、協会として参加する。また、協会役員等へ案内状を送付する。(来八については未定)